



(左上)会場はたくさんの人でにぎわった。(右上)今回で最後のステージ発表となった「BEAT MINUTE」。かっこいい踊りを披露し、観客を魅了した。(左)手描き和紙鯉のぼり作りに初挑戦。一筆ずつ丁寧に色を付けていく、小川結愛ちゃん(8歳)。



## 11/9 大にぎわいの コイ・こいフェスタ 総合市民会館・消防署周辺

「Happy 60 Otake! つなげよう未来へ」をテーマに開催された、コイ・こいフェスティバル・イン・おおたけ。あいにくの雨だったが、約20,000人が来場した。ステージでは多くのグループが演奏や踊りを披露し、屋外ではバザーや木工教室などが開かれた。また、消防署周辺では消防フェアが開催され、消火体験や救助袋体験などに子どもたちも参加していた。



さまざまな学校用品が競りにかけられ、威勢の良い声が飛び交った。



(左)火にめがけて放水。(右)消防服を着て、消防士気分。

## 勇壮に舞う 3つの奴行列

11/9

大竹駅前～翠橋

秋祭りを彩る大竹・小方・玖波の奴行列が一堂に会して練り歩いた「奴フェスティバル」。沿道には多くの人々が駆け付けた。奴の勇壮な舞に歓声が上がり、観客はそれぞれ趣の異なる行列を楽しんでいた。



(上)軽快に舞う、大竹祭「道中奴」(右)静寂に舞う、小方祭「忍び奴」(下)厳かに舞う、玖波祭「陣入奴」



## 健康・福祉に 楽しくふれあう

10/25 10/26

サントピア大竹

楽しみながら健康と福祉について考えてもらおうと、サントピア大竹で「大竹ふれあい健康・福祉まつり」が開催された。会場では公開座談会、血糖や脳年齢などの測定コーナーが設けられ、多くの人でにぎわった。



(上)健康づくり公開座談会のテーマは「大腸がんの早期発見・早期治療」。参加者はうなずきながら聞き入っていた。(右)食生活を見直してもらうための減塩味噌汁の試食コーナーでは、あちらこちらで「おいしい」と声が上がった。



10/26

## 心に響く講演会

アゼリアホール

市制施行60周年記念市民文化講演会が開催され、700人を超える人が会場を埋めた。講師は、尾木ママこと教育評論家の尾木直樹さん。「子どもも大人も居心地の良い家庭・地域をめざして」をテーマに、教育制度の変遷や、子育てで大切な「信頼」の築き方が語られた。ユーモアたっぷりのエピソードに会場は笑いに包まれ、聴衆はうなずきながら聞き入った。

ユーモアたっぷりのエピソードを交えて、家庭・地域のあり方を語った尾木ママ。

## 待ちに待った 行灯お披露目

11/3 大瀧神社

大竹青年会議所主催の「市制施行60周年市民提案事業 大竹和紙行灯ライトアッププロジェクト」。メインイベントであるライトアップが大瀧神社で行われた。原料の楮の皮むき体験から手すき和紙体験、最後の行灯制作まで、全ての工程を子どもたちで行った。

行灯に炎が灯されると歓声が上がり、やさしい光が達成感いっぱいの子どもの顔をゆらゆらと明るく照らしていた。



(右)行灯完成までの道のりを思い出し、達成感でいっぱいの子どもたち。

(上)手作り行灯のお披露目。